

発行
秦野市
農業協同組合
(神奈川県)
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711(代)
発行責任者 小島 敏雄
印刷所 (株)JA情報サービス

今月の特集 4～5面

花き部会 秦野産の魅力PR
花き部会は、良質な花を生産。市の行事に協力し、PRする。1月から3月にかけて、花を贈る機会が多い時期。秦野産の花で、気持ちを伝えてみてはいかがでしょうか。



山口さん⑤にダイコンの洗い方を習う受講者

援農で適正な価格に理解

J Aはだのは、組合員講座に援農の力リキウムを取り入れた。青年部員の山口哲治さんの協力で、収穫や調製作業を用意。農家の労力や適正な価格形成について考えるきっかけにしてもらう狙いだ。

12月17、22の2日間に分かれ、受講者計20人が掘山下の山口さんの畑を訪れた。ダイコンの収穫を手伝った後、水洗いや袋詰めなども体験した。

受講者は「収穫後も手間がかかるのが分かった。もっと価格に反映してもいいのではないかと考えが変わった」と話した。



野菜作りのプロが指導 30日から申し込み

コモンズ体験農園

J Aはだのは、気軽に野菜作りが楽しめるサポート付きの体験農園「はだのコモンズ体験農園」を開園します。野菜作りのプロによる指導で年間20種類の野菜を栽培します。新鮮で安全・安心な野菜の栽培や収穫を体験してみませんか。

◎開園 2026年4月
◎区画 全70区画(1区画15平方m)、その他に共同区画あり

◎利用料金 1区画当たり年6万6000円(税込み)

◎所在地 J Aはだの本所敷地に隣接する農地

◎申し込み 1月30日(金)から、右記QRコードのポータルサイト(<https://had-a-know.jp>)で先着順に受け付け
お問い合わせは、はだの都市農業支援センターまで。
☎81-7800



食料安全保障が課題

農政の理解深める学習会

J Aはだのは18日、本た。農政対策委員や生産所で国政学習会を開い組合長ら104人が出席

さて、本年は、J Aはだのにとって新たな挑戦の年となります。「食×農×表丹沢Ⅱ」ここに幸あり」をテーマに「はだのガストロノミー宣言」を行い、4月には本所事務所西側に「はだのコモンズ体験農園」を開園します。ガストロノミーとは、食文化や地域の風土、農業の魅力を総合的に体



新年のごあいさつ

新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
日頃よりJ Aはだの運営と発展にご尽力いただいている組合員の皆さま、地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

昨年、気候変動や資材価格の高騰、担い手不足など、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続きました。しかし、こうした時代だからこそ、J Aが果たすべき役割はますます大きくなっていると考えています。

農に関わる人の裾野を広げよう

代表理事組合長 宮永 均

「学び、発信する取り組みです。はだのコモンズ体験農園は、地域の皆さまや都市住民、子どもたち、さらには飲食店や観光業の方々など、さまざまな人々が農に関わり、共に学び、楽しみ、支え合う新しい農の場とすることを目指しています。」
この取り組みにより、農業の担い手や消費者、地域住民の垣根を越え、農に関わる人の裾野を広げてまいります。農園では、収穫体験や食育イベント、地元食材を生かした調理体験、地域の伝統文化の継承など、多彩な活動と連携します。これにより、農業の魅力や価値を再発見し、次世代への継承や「はだの市民農業塾」を通じた新たな担い手の育成にもつながっていきたくと考えています。

また、J Aの総合力を生かし、各種事業の積極的な展開による組合員サービスの向上、デジタル化・スマート農業の導入支援、エンゲージメント(組織への貢献意欲や愛着)による人材育成、女性の活躍推進など、多様な人材が輝ける組織づくりに注力してまいります。
結びに、皆さまのご健康とご多幸、そして活躍を心より祈念し、新年のごあいさついたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。

し、国内の農業政策やJ Aの農政運動などへの理解を深めた。

J A神奈川県中央会の職員が「国内農業政策等とJ Aグループの農政活動について」と題して登壇。食料自給率の低迷や自然災害の多発など「食



農業政策の状況を学んだ学習会

その後、牧島かれん衆議院議員が国内農業政策などの情勢を報告。輸入への依存が大きな課題となっていることから、国内の自給率を高めて食料自給率を引き上げることが必要だと説いた。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

大豆 色つや良く品質上々

「津久井在来」108袋検査

J Aはだのは20日、本所で大豆の農産物検査を実施した。生産者が持ち寄った、県在来種の「津久井在来」108袋(1袋約30キ)の品質を確認し、等級を付けた。今シーズンの大豆は形質や色つやが良く、品質は上々だ。

加工してじばさんず販売も

検査員を務める営農課 年より収量がやや少なかつたが、品質の良い大豆に仕上がった。7割を超す水分量を測定して等級を付ける。今年の一部の畑で生育不良が見られ、平

検査した大豆は、県内

生産者の一人、(株)大地



大豆の品質を確かめる検査員(左)と生産者

の豆腐店やみその加工業者に出荷される他、納豆や豆菓子、しょうゆなどに加工してじばさんずで販売する。

レンタルチッパー安全に

実演通じ 注意喚起

J Aはだのは11日、本所で剪定(せんてい)チッパーの講習会を開いた。農業機械利用事業の一環。レンタル時に受講を必須条件にしているも

員が、受講者33人に、レンタルの条件や必要な手続きなどを説明。チッパーを使



貸し出しているチッパーの使い方を実演

受講した藤田清春さんは「正しい使用方法を実演で確認でき、安全な使い方が分かった。便利

部員 剪定学び収量確保へ 電動農機を体験し確認

大きな枝を残さないことや、全体の樹形を乱す徒長枝を取り除くことなどを指導した。

電動農機を扱う(株)マキタの協力で「電動農機実

演会」も実施した。担当者

は、バッテリー式の剪定はさみやチェーンソー

の特徴を説明。太い枝もスムーズに

切れることや、作業負担軽減につな

がるメリットを伝えた。部員らは、紹介されたはさみ

J Aグリーンは農家を応援します

J Aグリーンはだのは2月7日(土)～15日(日)、ジャガイモの栽培に適した肥料や農薬などを特別価格で販売します。お得なこの機会にぜひご利用ください。

また、ジャガイモ栽培講習会を2月14日(土)午前10時から、本所3階虹の間で開催します。参加費は無料で、事前申し込みは不要です。種芋の植え付けや、植え付け後の管理、病害虫の防除などのポイントをお伝えしますので、お気軽にご参加ください。

お問い合わせはJ Aグリーンはだのまで。☎81-7719

ジャガイモ資材割引／講習会も



肥料や農薬を特別価格で販売

経営



安全な作業で 防ごう農機事故

2024年の農作業事故による国内での死亡者数は、236人でした。

そのうち農業機械作業に係る事故は147人で、全体の62.3%を占めています。そこで今回は、

農業機械作業を安全に実施するための方法を紹介

します。

▼乗用型トラクター

農業機械作業に係る事故の中で死亡事故件数が最も多く、圃場(ほじょ

は、2月14日(土)にも開催する。

受賞 おめでとう

日頃の成果を発揮

果樹部会柑橘部は8日、本所選果場で果実品評会を開いた。審査の結果は次の通り。

◇大津4号の部▽優秀

う)や道路での機械の転落・転倒が主な事故の原因です。安全フレームや安全キャブが装着されたトラクターを使用することと併せて、ヘルメット・シートベルトを適切に着用し、転落・転倒した際の安全を確保しまし

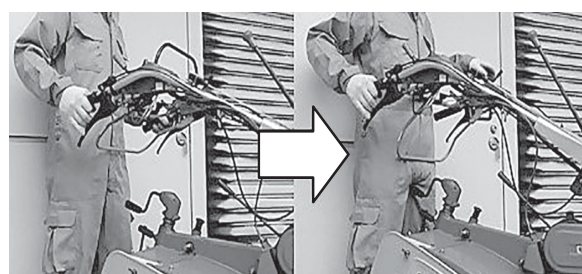
25年6月に道路運送車両の保安基準が改正され、乗用型トラクターのシートベルト装備が義務化されました。それに伴い、27年1月1日以降に製造された乗用型トラクターで道路を走行する際は、運転者のシートベルトの着用が義務となりま

2024年の農作業事故による国内での死亡者数は、236人でした。そのうち農業機械作業に係る事故は147人で、全体の62.3%を占めています。そこで今回は、農業機械作業を安全に実施するための方法を紹介

▼歩行型トラクター (耕運機)

後退時に、樹木や壁など機体に運転者の体が挟まれる事故が多く発生しています。後退する際には、後方に障害物がなければ必ず確認しまし

また、狭圧防止装置(「写真下」)などの安全装置が付いた機械を積極的に使用しましょう。



詳細は左のQRコードから農水省ウェブサイトを参照ください。

営農技術

ヒント・ポイント

かながわ鳥獣被害対策支援センター 0463-22-9521 (廣瀬)

農業技術センター 普及指導部 0463-58-0333

●果樹花き課 果樹(大井・曾根田・溝田) 花き(青木)

●野菜課 (杉山) 作物加工課 (城戸・小川)

賞▽諸星進一(渋沢)加藤トキ子(平沢)▽優良賞▽山岸勉(寺山)山口一夫(平沢)尾澤健一(南矢名)

神奈川県いちご品評会(果実の部)が15日、平塚市役所で開かれた。審査の結果は次の通り。

▽特別賞・神奈川青果株式会社秦野市場社長賞▽片野和彦(戸川)▽入選▽飯田進(堀西)北村彰(堀山下)村上幸雄(堀山下)

労働者の負傷、疾病、障害、死亡に対して保険給付を行う制度ですが、事業主である農業者も一定の要件のもとに、特別加入という形で任意加入が認められています(関連記事7面)。万が一の事故の際にも確実な補償が受けられるよう、未加入の方は労災保険の特別加入制度を積極的にご検討ください。

▼コンバイン

路肩走行中の転落や転倒、手こぎ・詰まり除去

▼刈り払い機(草刈り機)

キックバックや小石・チップの飛散による足の切創、失明などの事故が発生しています。作業前

整備の作業時は必ずエンジン停止するようにし

向原さんが県代表(記事活用)

生活文化活動体験発表会・県家の光大会

川口さんは活動の部で発表

2025年度生活文化活動体験発表会・神奈川県家の光大会が12月23日、横浜市のJAグループ神奈川県ビルで開かれた。県内各JAの代表者がテーマに合わせて各自の活動を発表。JAはだのからは2人が発表し、部員16人が応援に駆け付けた。審査によって、東支部の向原洋子さんが「家の光」等記事活用の部で県代表に選ばれた。



発表会に出席した部員

発表は、女性部活動の部に本町支部の川口君子さんが「明日に向かって」と題して登壇した。支部長として、高齢の部員も参加しやすい活動を取り入れたことや、コロナ禍でも地域貢献に努めた取り組みを紹介。部員と協力し、さまざまな困難を乗り越えてきたことを発表した。

「家の光」等記事活用の部に出場した東支部の向原洋子さんは「つなぐつたえる」のタイトルで発表した。「家の光料理カード」を参考に、じばさんに出荷する総菜の

内容を決めていることや「家の光」の特集で青パイヤが取り上げられ、自身が調理している様子が紹介されたことをきっかけに、青パイヤの魅力発信に力を入れてきたことを紹介。「今後は、

青パイヤの消費拡大にさらに貢献していきたい」と話した。審査の結果、向原さんが県代表に選ばれ、2月に福岡県で開かれる「家の光都道府県代表体験発表大会」に出場する。

組織運営に反映を

女性部と役員が意見交換



女性部の今後について意見を交わした

女性部とJAはだの常勤役員は19日、本所で意見交換の場を設けた。部員の声を反映した組織運営につなげることが目的。女性部本部役員とJ

支部だより



フラワーアレンジメント

本町・東支部
東支部は12月25日、本町支部は同日、各支所でフラワーアレンジメント教室を開いた。両

いきいき女性部活動

腹話術「笑顔」

代表 露木 瑞恵さん



今年度はメンバーが1人増え、8人になりました。ボランティア活動も増え、感謝感謝です。年間14会場で、30回近くも腹話術を披露しました。定期的な施設の訪問、友人からの依頼や、公演を見て「JAはだの女性部目的別趣味グループ」と知った自治会からの依頼もあります。大部分のメンバーが、神奈川県オーラルフレイル健口推進員です。自分事として、口腔の健康「健口」に関わるフレイル(虚弱)予防をアピールしていきます。メンバーをいつでも募集しています。興味のある方はご連絡ください。

地域貢献へ率先 本所周辺を清掃

女性部は8日、本所周辺で清掃活動を行った。同部が取り組む「くらしと環境の活動」の一環で、部員のごみ問題に対する意識を向上させることもに、地域貢献につなげようと2016年から実施。本部役員19人が、協



協力してごみを拾った

からも環境に良い活動をし組んでいきたい。来所してもらえたらうれしい」と話した。

ことや、部員数と目的別趣味グループの数が増えたことを伝えた。その後、互いに意見を交換。協同への理解を深める学習活動を増やしていくことや、生協組合員との連携

についても話し合った。部員からは「LINEを積極的に活用して、支部活動を案内している。参加率も良くなったので、引き続き取り組んでいく」との声も上がった。

真弓さんが講師を務め、花を挿す順番や角度を指導した。部員は、花の配置やはさみで茎を切る長さを確認し、全体のバランスを調整しながら作品を完成させた。



正月飾りに挑戦

上支部

上支部の部員14人は15日、上支所でハンドエステを体験した。市内のフェイシャルサロン「ふれ愛サロン」から講師を招き、マッサージの方法を学んだ。部員は、2人1組になって互いの手をマッサージと笑顔を見せた。

増田育英支部長は「フレミズ講座でメークアップを受けた部員が発表し、サロンの協力で実施できた。部員の癒やしの時間にできて良かった」と笑顔を見せた。



互いに手をマッサージする部員

2月の女性部行事予定表

2日(月)	10:00~文化交流会実行委員会および目的別趣味グループ代表者会議
3日(火)	10:00~防災講習会
//	13:30~本部役員会
4日(水)	9:30~西支部「ふるさと料理教室(西幼稚園)」
9日(月)	13:00~南支部「しいたけ作り」
12日(木)	10:00~本町支部「イチゴ狩り」
13日(金)	10:30~食を学ぶ研修会
16日(月)	9:00~支部会(西)
//	9:30~支部会(南)
//	10:00~西支部「しいたけ作り」
//	13:00~支部会(上)
//	14:30~上支部「しいたけ作り」
17日(火)	9:00~支部会(大根)
//	9:30~支部会(本町)
//	11:30~大根支部「しいたけ作り」
//	13:30~支部会(東・北)
25日(水)	9:00~家の光都道府県代表体験発表大会
26日(木)	9:00~第67回全国家の光大会

No.510

発見 探訪

栗原龍夫さんは、市内で生まれ育った。伯父が経営する御間屋に勤務しながら、結婚を機に浜沢駅前に生活雑貨店を開業した。その後、荻浦に移り、土木建設業に従事してきた。仕事の傍ら、22歳部長を務めた他、鳥獣保護員としても活躍した。長年にわたり、有害鳥獣から地域の農業を守るために尽力し、昨年愛犬と共に引退した。荻浦の一栗原 龍夫さん(85)

荻浦の一栗原 龍夫さん(85)

荻友会に所属し

狩猟通じ地域交流

の時に狩猟免許を取った。長年にわたり、有害鳥獣から地域の農業を守るために尽力し、昨年愛犬と共に引退した。荻友会に所属し

保護員としても活躍した。長年にわたり、有害鳥獣から地域の農業を守るために尽力し、昨年愛犬と共に引退した。荻友会に所属し

農家が守る伝統神事

五穀豊穣願いの筒粥

東田原の農家7人で、結成する富士講が12日、東会館で伝統行事「筒粥」を行った。

筒粥は、かゆを煮ている鍋の中に12本の竹筒を入れ、中に入った米の量で農作物の豊凶を占う。講のメンバーは煮上がった竹を割り、入っている米粒を数えた。さらに、まきの燃え具合から、月ごとの天気も占った。結果、大豆や小豆、芋類は豊作が期待でき、天候は梅雨の遅れと8月の大雨・台風に注意が必要と出た。

今年は、市観光ボランティアの会の会員らが、研修として神事を見学した。

蘭玉飾り展示

じばさんず

じばさんずは10日から14日まで、どんと焼きの蘭玉飾りを展示した。ま

「よめっ娘」が手掛けた蘭玉飾り

花の装飾の前で記念撮影する参加者

1月から3月にかけて「愛妻の日」やバレンタインデー、ホワイトデーが続くことから、花卉(かき)業界は花の消費拡大を図ろうと、特別な日に思いを込めて花を贈ることを提案している。

愛妻の日は、1月31日。1をアルファベットのI(アイ)に、31を「サイ」と読む語呂合わせで、日本愛妻家協会が制定した。2月14日のバレンタインデーは、海外では男性から女性にバラなどの花を贈るのが一般的。日本でも男性から女性に花を贈る「フラワーバレンタイン」の普及活動が2011年から始まった。(一社)花の国日本協議会が中心となり、業界全体で

「関東東海花の展覧会」と「花とみどりのフェスティバル(神奈川県花き展覧会)」が開催されます。花き部会の部会員が育てた花も会場に飾ります。花の香りと色彩にあふれる会場へ、ぜひお越しください。

関東東海花の展覧会
◎日程 1月30日(金)～2月1日(日)
◎会場 池袋サンシャインシティ文化会館ビルD 2階・展示ホールD
関東・東海地方で生産された花が一堂に集まる、日本最大級の花の展覧会です。品評会入賞作品などの展示の他、フラワーアレンジメント教室を開催します。最終日に実施される即売会は、毎年大人気です。

花とみどりのフェスティバル(神奈川県花き展覧会)
◎日程 2月14日(土) 15日(日)
◎会場 横浜産貿ホール「マリネリア」
県内産の切り花や鉢花などの展示・販売の他、生け花やフラワーアレンジメント教室を開催します。15日には即売会も実施します。詳細は下記QRコードからウェブサイトをご参照ください。

花が並ぶ関東東海花の展覧会の会場(昨年)

花き部会の部会員も、この時期に合わせて花を消費者に届けようとして、連日作業に励む。丹精して育てた花を県内外の市場の他、じばさんずにも出荷する。大切な人への贈り物に、ぜひ秦野産の花を。

花き部会カーネーション部は19日、部員の温室を巡回した。圃場(ほじょう)を見て回り、栽培する品種や管理方法などについて情報を共有した。部員や県農業技術センター職員ら8人が6園の温室を巡回。生育状況を確認し、品種の特徴や温室の遮光設備などについて意見を交わした。その後、異常気象への

成果を発揮

囲碁将棋大会

J Aはだの20日、本所で囲碁将棋同好会の会員を対象に「新春」囲碁将棋大会を開催した。

大会の結果は次の通り。

囲碁の部A 優勝

相原秀雄(堀西)

囲碁の部B 優勝

有賀詩壽(尾尻)

◎将棋の部 優勝

神長洋(曾屋)

基将棋大会

開いた。趣味を通じて、組合員同士の親睦を深めてもらうことが目的。参加した会員34人が、日頃の成果を発揮し、腕前を競った。

開碁の部は21人が、将棋の部は13人が参加。抽選で対戦相手を決め、点数制で勝負した。

大会の結果は次の通り。

花き部会 秦野産の魅力PR

はたちのつどいの会場に花を飾り付ける部会員

花き部会カーネーション部は19日、部員の温室を巡回した。圃場(ほじょう)を見て回り、栽培する品種や管理方法などについて情報を共有した。部員や県農業技術センター職員ら8人が6園の温室を巡回。生育状況を確認し、品種の特徴や温室の遮光設備などについて意見を交わした。その後、異常気象への

温室で意見を交わす部員ら

キムチ工場を見学

地域特産物連絡会

秦野市地域特産物連絡会は14日、川崎市のキムチ専門店「おつけもの」を視察した。漬物などを加工・出荷する部員6人が、キムチを製造する工場を見学した。

同店は、国産のハクサイを使い、職人が手作りでキムチを製造する。衛生管理を徹底し、仕入れから出荷まで、製品の温度や品質を丁寧に管理している。

ミカンを出荷

大玉で甘さ乗る 柑橘部

諸星さんは「今年は収穫量も多く、味の良いミカンができた。一生懸命育てたのでぜひ食べてほしい」と期待する。

部員は毎年、大津4号「青島温州」などのミカンを選果する。選果場に持ち寄り、大型の選果機で大きさに選別。選果場のスタッフらが専用箱に詰め、青森県の市場などに出荷している。

試食の給食を取り分ける受講者

学校給食から学ぶ 基礎講座受講者が視察

組合員基礎講座の受講者が12月22日、秦野市学校給食センター「はだのっ子キッチン」を視察した。受講者12人が、安全・安心を徹底するセンターの運営を学んだ他、給食を試食した。

市学校教育課の職員が、食中毒やアレルギー対策を徹底していることや、地場産農産物にこだわっていることなどを説明。給食を単なる「食」というだけでなく、生きた教材として位置付けていると伝えた。

市長に葉ニンニク贈る

意見交わし認知度向上へ

葉ニンニク研究会は12月23日、秦野市役所を訪れ、高橋市長と市長に葉ニンニクを贈った。諸星一雄会長ら4人が20袋(1袋100g入り)を手渡した。日頃の支援に感謝を証し、認知度向上につなげたいと話した。

市役所では、葉ニンニクの認知度向上を図るため、例年より早く出荷を始めた。昨年は、市役所の優良農産物等登録認定制度や県の「かながわブランド」に登録されたことが、認知度向上につながっていると話した。

高橋市長は、栽培方法や販売経路などについて質問。「鳥獣被害を受けている作物だと聞くと、市の代表的な特産物になるよう、生産を頑張ってください」と激励した。

諸星会長は「植える方を工夫して長期間出荷することで、消費者にPRする機会を増やしていく。研究会で力を合わせて生産に励みたい」と意気込む。

カンを出荷した。今シーズンのミカンは大玉で、甘さが乗り品質は上々だ。

部員は毎年、大津4号「青島温州」などのミカンを選果する。選果場に持ち寄り、大型の選果機で大きさに選別。選果場のスタッフらが専用箱に詰め、青森県の市場などに出荷している。

Copyright © 2026. All Rights Reserved. 秦野市観光協会

告知板

「にじのきらめき」栽培講習会開きます

水稲新品種「にじのきらめき」の栽培講習会・試食会を開催します。栽培を検討している方は、ぜひご参加ください。

◎日時 2月5日(木) 午後1時30分から
◎場所 本所2階 大会議室
◎内容 ①栽培管理について②試食
お問い合わせは営農課まで。☎81-7718

農業機械展二会場来場ください
◎日時 2月6日(金) 7日(土) 午前9時～午後3時
◎場所 JA全農かながわ(平塚市田村) 農業機械・資材メーカーが出展し、農業機械の展示や相談コーナーを設けます。最新の農業機械や、肥料・農薬・園芸資材も多数展示します。



【2月のイベント】

☆「おススメ!果物・野菜・加工品」1日(日)7日(土)8日(日)14日(土)15日(日)21日(土)22日(日)28日(土)旬の果物や野菜、お薦めの加工品などを店舗外の特設コーナーで販売します。

☆「節分の日」3日(火)豆まきで厄よけしましょう。恵方巻や大豆・落花生など、節分にちなんだ商品を多数ご用意します。

☆「豚肉加工商品の日」20日(金)㈱フリーデンが国産豚を使用した商品を特別価格で販売します。

☆「たまごの日」毎週月、金曜日店頭価格から10%引き。一部の生産者出荷品は除きます。

☆「米の日」毎週水曜日指定の銘柄米が店頭価格から10%引き。

☆「肉の日」毎週木曜日店頭価格から5%引き。

【Sun's Gelatoのイベント】
☆「ポイント2倍デー」3日(火)13日(金)23日(月)サン(3)ズジェラートの日は、ジェラート1個ご購入でスタンプカードに二つ押印します。

☆「お得なパンセット」8日(日)18日(水)28日(土)8の付く日はパンセットの日。クロワッサンなどのパン商品を5個300円で販売します。組み合わせはお好みで選べます。

☆「ジェラートの日」毎週火曜日店頭価格から10%引き。

☆「ワンスプーンサービス」雨の日は、ジェラート購入でお好きな味をスプーン1杯分お付けします。

◎2月10日(火)は定休日です。
◎2月28日(土)は棚卸しのため、午後3時までの営業です。
※準備の都合上、イベントが変更になることがありますので、ご了承ください。

両日、中古農機販売会を入札方式で開きます。入札は6日(金)午前9時から始まり、7日(土)正午に締め切ります。農作業安全やセルフメンテナンスなどをテーマにしたミニ講習会も開かれます。

◎日時 2月14日(土) 午後1時30分から
◎場所 本所農業機械センター前
◎対象者 JAはだの組合員
◎内容 剪定チップの取り扱い方法
◎申し込み期日 2月13日(金)まで
お申し込み・お問い合わせは農業機械センターまで。☎81-8394

2月5日(木)から、農薬の価格を改定します。一部の品目を除き、5～10%の値上げです。皆さまのご理解をお願いいたします。

お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719
結婚相談の新規受け付け2月まで
結婚相談の登録者新規受け付けを2月27日(金)に終了します。ご理解をお願いいたします。

JAはだのは、農業機械利用事業の一環で、組合員に剪定(せんでい)チップを貸し出している。

ます。機械使用時の事故防止と安全確保のため、利用する方は、事前に講習会を受講していただく必要があります。

講習会を次の通り開催します。お気軽にご参加ください。これまでに受講したことがある方は、再度の受講は不要です。

◎日時 2月14日(土) 午後1時30分から
◎場所 本所農業機械センター前
◎対象者 JAはだの組合員
◎内容 剪定チップの取り扱い方法
◎申し込み期日 2月13日(金)まで
お申し込み・お問い合わせは農業機械センターまで。☎81-8394

2月5日(木)から、農薬の価格を改定します。一部の品目を除き、5～10%の値上げです。皆さまのご理解をお願いいたします。

お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719
結婚相談の新規受け付け2月まで
結婚相談の登録者新規受け付けを2月27日(金)に終了します。ご理解をお願いいたします。

JAはだのは、農業機械利用事業の一環で、組合員に剪定(せんでい)チップを貸し出している。

東給油所で工事18日に一時休業

東給油所は、計量器交換の工事のため、2月18日(水)午前9時～午後2時に休業します。利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解をお願いします。

バレンタインに各給油所で特典
各給油所で、2月12日(木)から16日(月)まで「バレンタインキャンペーン」を実施します。ガソリン・軽油・灯油を20リットル以上給油された方に、数量限定でティッシュペーパー3箱または台所用洗剤をプレゼントします。なくなり次第終了します。この機会にぜひ給油所をご利用ください。

お問い合わせは経済課まで。☎81-7717
さわやか農園の利用者を募集中
JAはだのは、荒廃農地対策の一環として設けている「さわやか農園」の利用者を募集しています。

お問い合わせは西支所まで。☎88-10004
じばさんずで献血で協力を
じばさんず敷地内に、献血バスが来ます。皆さまのご協力をお願いいたします。

お問い合わせは営農課まで。☎81-7718
対象地区 上地区
お問い合わせは営農課まで。☎81-7718

秦野市は、市火災予防条例に基づき、1月から「林野火災注意報」「林野火災警報」の運用を開始しました。空気が乾燥しているときに発令し、火の取り扱いの注意を呼びかけます。火を使用する前は、注意報や警報が発令されていないか必ず確認しましょう。

◎注意報が発令された場合
▽たき火や野焼きを控える
▽屋外での火の使用を

林野火災 起こさない 1月から注意・警報運用

控える
▽喫煙場所に注意する
▽たばこのポイ捨てはしない
▽特に危険性の高い地域では火の使用制限が「義務」となる
作業の前に必ず確認を
詳細は左記QRコードから秦野市のウェブサイトを参照ください
域(丹沢大山国定公園・い。県立丹沢大山自然公園)では火の使用制限が「努力義務」となる
◎警報が発令された場合
▽指定区域での火の使用制限
▽特に危険性の高い地域では火の使用制限が「義務」となる
詳細は左記QRコードから秦野市のウェブサイトを参照ください



休日ローン相談会

住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。どなたでもお気軽にご相談ください。

2月21日(土)

午前9時～午後4時 本所

完全予約制のため、事前予約をお願いいたします

融資課 ☎0120-954-093

またはお近くの支所・支店までお問い合わせください。

ホームページ内「休日ローン相談会」から予約可能!

JAはだの

検索



ご相談
お待ちしております

ご来場の方に
記念品を
進呈

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
城門のきりっと重し梅探る
高橋 順子(大森町)
園児らのてんでに赤い実千両
柳川みち子(栄町)
千両を活けて華やぐ大家族
佐藤英美子(南矢名)
老梅の香に突き当たる極楽寺
森高 由子(渋沢)
晩年を生き抜く力実千両
高島美和子(名古木)
稚さならのままごと遊び実千両
吉田 清美(渋沢)
植え込みのなかに息づく実千両
志賀 明子(千村)
旅宿のステンドグラスと実千両
石原 松枝(渋沢)
実千両真つ赤とも言ふ嘘もある
選者
〈短歌〉(久保寺 富男 選)
初春に家族で競う歌留多会
私の好みは寂蓮の歌
評
歌留多とは優雅で懐かしい。「寂しさはその色としもなかりけり横立つ山の秋の夕暮れ」であろうか。日本三才の歌で知られるが、同作者には「村雨の露もまだ干ぬ横の葉に霧立のぼる秋の夕暮れ」もある。いずれも百人一首。曆には新年会と書き込んで赤鉛筆で花丸つける
細田 富士(千村)
ビニールに絵を描きたる子らは皆
おのが風持ち蒼空に放つ
八木 実(鶴巻北)
まだ知らぬ僕に会うためノックして
こころのとびら開けてゆくのだ
大木かずひろ(名古木)
軸替えて寒椿の花に新年の
光および来部屋に安らぐ
石田こずゑ(水神町)
遠つ代の歴史は女子に始まると
歳返る日の記事を読みつつ
選者
※選者による添削あり

今月の理事会

1月20日に理事会を開
催し、次のことを審議し
ました。
▽2026年度事業計
画(素案)について
▽貸出条件変更の申し
込みについて
職員人事
かつこ内は旧部署
◎12月31日付退職
坂理成(葬祭課セシモ
新採用)

農業労災 まさかの事故に備え 3月13日まで加入運動

農業従事者の高齢化な
どにより、農作業中の傷
害事故が増えています。
2025年度は11月末現
在、市内で14件の農業労
働災害事故が発生してい
ます。
JAはだのは、農作業
中の事故への備えのため
「農業労働災害保険加入
促進運動」を進めていま
す。療養・休業給付から
遺族給付まで手厚い補償
があり、掛け金は全額が
社会保険料控除の対象で
す。
▽対象者と対象作業
▽特定作業従事者Ⅱ自
営農業者(兼業農家を含
む)で、年間の農業生産
物販売額が300万円以
上または経営耕地面積2
畝以上の規模で、次の農
機、草刈り機など。
トラクターなどの農業
機械を使用する作業、2
その他、農産物を市場
などまで運ぶ出荷作業、
出荷作業後に行う販売作
業も対象です。
◎補償内容 療養補償
給付、休業補償給付など
◎保険料 年1回の掛
け金です。
この機会にぜひご加入
ください。
◎運動期間 3月13日
(金)まで
▽指定農業機械作業従
事者Ⅱ自営農業者(兼業
農家を含む)で、次の機
械を使用して農作業を行
う方。
動力耕運機、その他の
農業用トラクター、自走
式田植え機、自走式防除
機、草刈り機など。

葉ニンニクの和風チャーハン

上支部 諸星 藤枝さん



■材料2人分■
葉ニンニク1本、
ご飯茶わん2杯分、
かつお節1パック、
サラダ油適量、塩・
こしょう少々、しょ
うゆ適量
＜作り方＞
①葉ニンニクを小口切りにする。
②熱したフライパンにサラダ油を入れ、葉ニ
ンニクを入れる。
③②に温めたご飯を入れて炒め、塩・こしょう
・かつお節を入れる。最後にしょうゆを鍋肌
から回し入れ、香りを付ける。
＜ひとことアドバイス＞
しょうゆの量はお好みで調節してください。

項目	新規就農コース	基礎セミナーコース	農産加工 セミナーコース
対象者	新たに市内での農業参入を希望する方(年間50万円以上の売り上げ目標) 定年帰農により秦野市で農業を始める方	市民農園などの利用 者および利用を希望 する方	市内で農産加工品の製 造販売を希望する方 すでに製造販売してい る方
内容	就農に必要な知識・技術の習得、 露地野菜の慣行栽培研修	座学(講義)を中心 とした基礎的な学習	農産加工品の製造販売 に必要な知識の習得
受講場所	表丹沢堀山下ふれあい農園	J Aはだの本所	J Aはだの本所
募集人数	5人程度	15人程度	12人程度
受講料 (年間)	20,000円(別途保険料あり)	10,000円	3,000円
期間 その他	3月~28年1月(2年間) 1年目:週3日 農家研修(40日以上) 2年目:講義(月1~2日) 農場実習(通年) 農家研修(40日以上)	3~12月の土曜日 全12回を予定	4~9月 全8回を予定
申し込み	説明会の開催時に申し込み ※面接選考あり 受け付け:1月28日(水)まで	電話で先着順受け付け 2月6日(金)まで	

ニールホール係長)
◎1月1日付
信用課Ⅱ吉田沙織(新
採用)
西支所Ⅱ長谷川綾香
(新採用)
け捨て制(給付基礎日額
によって年間保険料は異
なります)
◎補償期間 4月1日
から翌年3月31日までの
1年間
800

市民農業塾 受講生を募集 新規就農コースも

農業の担い手づくりの
場として開講する、20
26年度「はだの市民農
業塾」の受講生を募集し
ています。目的に応じて、
3コースを用意していま
す。
新規就農コースは、事
前に説明会を開催し、申
込書を配布します。受講
を希望する方は電話でお
申し込みの上、必ず出席
してください。当日は履
歴書をご持参ください。
◎日時 2月7日(土)
午前10時から
◎場所 本所農業団地
センター3階 O A会議
室
お問い合わせ・お申し
込みは、はだの都市農業
支援センターまで。81
17800

長寿者に記念品贈呈
おめでとうございま
す。末永くお元気でお過
ごしてください。
88歳(米寿)
▽東地区Ⅱ前薫(東田
(曾屋)

結婚相談日
2月10日(火)
時間 午前9時~正午
事前に電話でご予約をお願いします。
先着4人ですのでお受けできない場合
があります。
ご予約・お問い合わせは組織教育課
81-7714

家の光
今月の新刊
美しき日本の
土壌図鑑
加藤拓 著
地面の下はどうなっ
ているのか。そこには微生
物や植物、土壌動物が住
む多彩な土壌が広がって
います。
本書は、全国各地を巡
り採取した土壌の断面標
本を美しい写真とともに
紹介し、その成り立ちや
特徴を詳しく解説。農業
・地学の基礎知識はもち
ろん、研究者ならではの
視点が光る、学びと発見
に満ちた土壌図鑑です。
定価3100円(税別)

▽北地区Ⅱ渋谷金吾
(戸川)
77歳(喜寿)
▽大根地区Ⅱ高橋栄子
(南矢名)
▽本町地区Ⅱ山崎有正
(曾屋)
▽南地区Ⅱ高橋勇(尾
尻)
▽北地区Ⅱ佐野恵(戸
川) 鈴野利雄(戸川)
※自己申告ですので、
該当の方は申請書に記入
・押印の上、誕生月の前
月末までに各支所・支店
に提出をお願いします。

年金無料相談会
これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きの
お手伝いをさせていただきます。
社会保険労務士がご相談にお応えします。
2月15日(日) 本所農業
団地センター
時間 午前9時~午後4時
できるだけ
事前予約を
お願いします
ご予約・お問い合わせは 信用課 TEL.81-7716

農業振興への意気込みを語る宮永組合長



賀詞交歓会で交流 農業の発展誓い合う

JAはだのは13日、本所で賀詞交歓会を開いた。組合員や役員をはじめ、高橋昌和市長や相原學市議会議長、牧島かれん衆議院議員ら83人が出席。市内の農業の発展に向けて互いに協力していくことを誓い合った。

開会のあいさつで宮永均組合長は「都市農業振興に向け、はだのガス・農・地域文化を一体的にとらえ、この土地でしか味わえない体験を提供していく。じばさんを拠点に、秦野の農業のさらなる振興を進める」と力強く語った。

その後、出席者はあいさつを交わしながら親睦を深め、地域農業の振興に一丸となって取り組むことを確認し合った。

TACが主導

イチゴ買い取り推進

今シーズン1万7000パック



イチゴの品質を確認する北村さん④と山口さん④

JAはだのは、イチゴの買い取り販売に力を入れている。やさい部会いちご部の部員からイチゴを買い取り、じばさんずの他、イオン秦野店、横浜市の「やさいや金次郎」などに出荷。秦野産のイチゴを多くの消費者に届けることも、生産者の労力軽減につなげている。

JAは、量販店などにも、2022年から秦野産のイチゴを供給するイチゴの買い取りを開始

生産者の労力軽減を目指す

した。担い手に出向くJA担当者(TAC)が販売先との価格交渉や納品する数量の調整などを担うことで、生産者の販売にかかる労力を減らす取り組み。今シーズンは、5月までに1万7000パックを出荷する見込みだ。

6日には、部員の北村彰さんと山口新次さんが、選果場に「章姫」かなこまち」など187パックを持ち寄った。今年、夏の暑さで花芽の分

縁起物を求め盛況 栄養豊富な大寒卵を販売

じばさんずは20日、店舗外の特設ブースで大寒卵を販売した。栄養豊富な卵を求める多くの来店者でにぎわいを見せた。鶏は、冬になると餌を多く食べ、産卵数は少なくなるので、その栄養が豊富な卵が産まれる。特に二十四節気の大寒に産まれた卵は「食べると一年を健康で過ごせる」という言い伝えがあり、健康運や金運が上がるともいわれ、縁起物としても人気が高い。

三廻部で市内唯一の養

化が遅れたため、例年より出荷の開始が遅れたが、イチゴは甘さが乗り品質は上々だ。

北村さんは「今年から直売をやめて、生産する全てのイチゴをTACに買い取ってもらうことにした。値付けや販売などを任せられるので作業が楽になった」と笑顔だ。

TACは「栽培に専念して良いイチゴを作ってもらえるよう今後も買い取りに力を入れていく。販売先のニーズなどを見極めながら、生産者に有利な価格を維持できるように努めていきたい」と話した。

めて出荷作業に励み、大寒卵50パック(1パック6個入り)を対面で販売した。

澤口さんは「秦野産のそば粉やおからなど、鶏が食べる餌にもこだわっておいしくなるよう工夫している。食べた人の笑顔につながればうれし」と話した。

接近! おじゃまします

上大槻の田中一美さんは、酪農を営む家に生まれ育った。家業を継ぐため、県立中央農業高校の畜産科や帯広畜産大学の別科で学び、鶴巻の門倉種豚場に勤務。その後、農業実習で1年間オランダに渡った。農場主の家に住み込み、言葉の壁に苦労しながらも着実に酪農の知識や技術を身



上大槻の
田中 一美さん(46)

飼料自給し先端技術も導入

に付けた。帰国後、2005年に就農した。現在は、経産牛31頭と育成牛19頭を飼育する。子牛から分娩(ぶ)んべん)前までの育成牛は北海道などに預託するのが一般的だが、田中さんが搾

田中さんは16年ほど前から、自らの手で育てる。家で生まれた牛を育てているのでうち・5彩で牧草やトウモロコシを栽培する。畑には牛ふん堆肥を還元し、循環型農業にもつながる。田中さんが搾

った生乳は、あしがら乳業が作る県産生乳100%の「きんたろう牛乳」に使われている。良質な生乳を搾るため、牛の健康には常に気を配る。2年前からは、牛の首にセンサーを装着し、活動量や発情の兆候などを人工知能(AI)システムで把握するなど、先端技術も積極的に取り入れている。

「支えてくれる妻に感謝しながら、これからも励んでいく。市内で搾られた生乳は全てきんたろう牛乳になっているので、多くの人に飲んでほしい」と力を込めた。

やえのちゃん ぴーなマンの インスタ この1枚

今月の1枚は、秦野の観光イチゴ園を紹介した投稿よ。1月から市内のイチゴ園が順次オープンしているわ。

いよいよイチゴ狩りシーズン到来だね。市内のイチゴ狩り園は全部、高設栽培なんだっ

け? そうよ。子どもから大人まで、摘み取りやすいわよね。園ごとに、イチゴの品種や摘み取りのプランなどに特徴があるから、いろいろな園に行ってみてね。



InstagramのJAはだの公式アカウントは、この他にも季節の農産物やレシピ、じばさんずの情報を発信しているよ。ぜひフォローやいいねをしてね。

